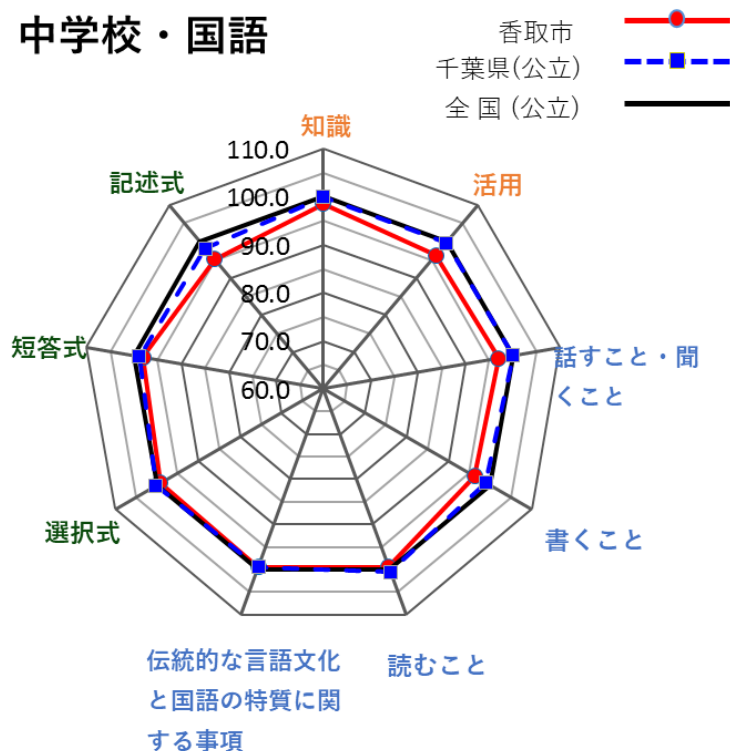


中学校の傾向と課題

中学校・国語



「知識」は全国平均と同程度で、「活用」はやや下回りました。

領域別では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」が全国平均よりやや低く、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、同程度でした。

問題形式別では、「記述式」に課題が見られます。

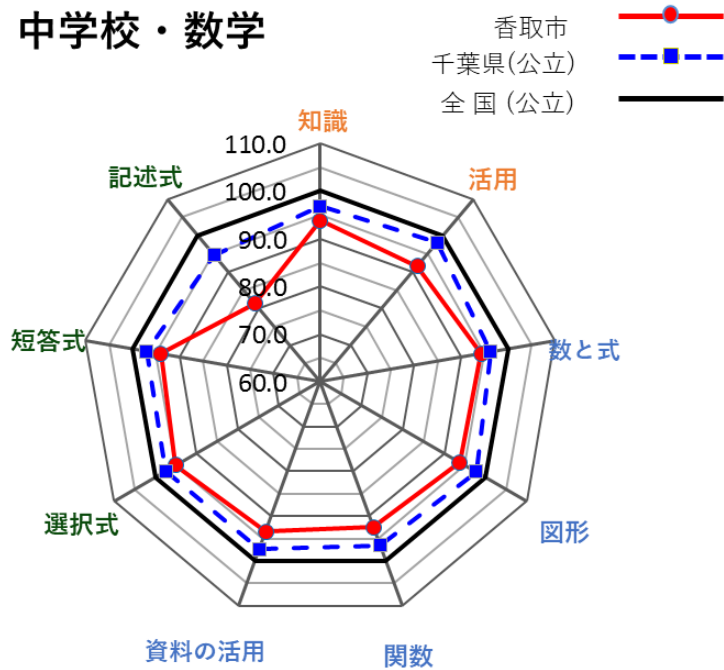
課題が見られた主な問題

- 国語A 8 六 2 「とほさざるなし」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書く。
香取市 59.5% (全国 63.0%)
- 国語B 1 三 説明的な文章を読み、「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く。
香取市 9.7% (全国 13.3%)
- 国語B 2 三 発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する。
香取市 48.0% (全国 54.6%)

力を入れたい学習

- 文語のきまりについては、言葉の意味を考えて音読したり、音読を聞いたりする活動を通して、古典特有のリズムを味わいながら理解できるようにする。
- 目的に応じて文章の内容を読み取れるようにする。問いの答えを見つけるための手掛かりとなる箇所印をつけながら読んだり、見つけた答えについてどのようにたどり着いたのかを書いたりする活動を設定する。
- 目的に応じて話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら話すことができるようにする。例えば、話し手と聞き手だけでなく、その場の様子を観察する立場を設け、発表の進め方等についてそれぞれの立場から検討する学習を行う。

中学校・数学



「知識」、「活用」ともに、全国平均を下回る結果となりました。特に、「活用」に課題が見られます。

領域別では、すべての領域で全国平均を下回る結果となりました。

問題形式別では、すべてが下回る結果となりました。特に「記述式」が課題となっています。

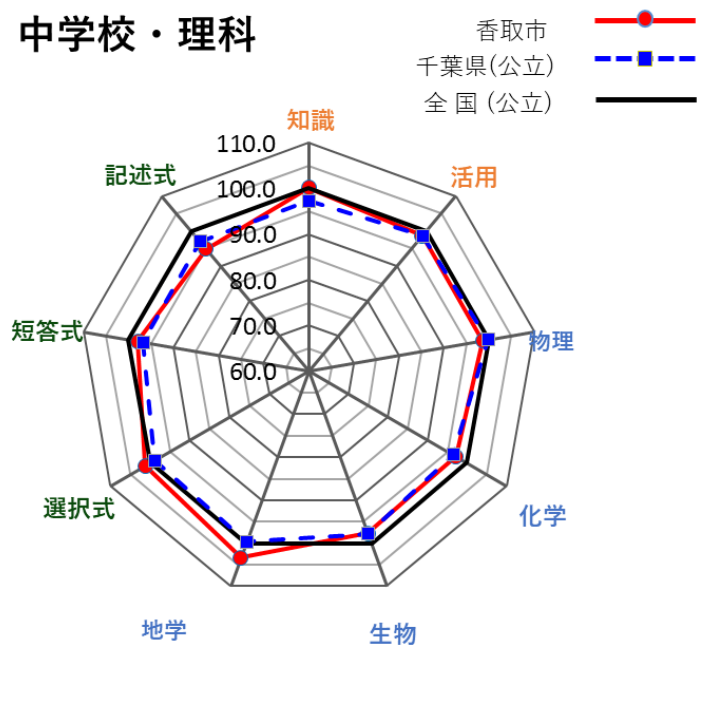
課題が見られた主な問題

- 数学A 2(1) 「1個 a kgの荷物3個と1個 b kg荷物4個の全体の重さは15 kg以上である」という数量の関係を表した不等式を書く。
香取市 32.0% (全国 41.5%)
- 数学A 5(4) 底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ。
香取市 49.1% (全国 57.6%)
- 数学B 2(2) はじめの数 (n) にどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を $(n-4) \times 3 + n$ を用いて完成する。
香取市 29.2% (全国 37.5%)

力を入れたい学習

- 数量の大小関係を不等式で表すことができるようにする。比べようとする数量に着目し、文脈に沿って「以上」「以下」「より大きい」「未満」のいずれかを的確に捉え、不等号を用いて表現する活動を重視する。
- 柱体と錐体の体積の関係を理解できるよう、柱体と錐体の体積の関係を予想し、模型を用いた実験による測定を行って確かめる場面を設定する。
- 事柄が一般的に成り立つ理由を説明できるようにするために、文字式や言葉を用いて根拠を明らかにする活動を充実させる。

中学校・理科



「知識」は全国平均をやや上回り、「活用」は同程度でした。全体的に概ね良好といえます。

領域別では、「地学的領域」が全国平均を上回り、「化学的領域」「生物的領域」がやや下回りました。

問題形式別では、「記述式」にやや課題が見られます。

課題が見られた主な問題

- 理科4(2) ガスバーナーの空気の量を変えて炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」について書く。
香取市38.3% (全国44.1%)
- 理科4(3) ガスバーナーの炎が赤い(酸素が不足している)ときの化学変化を表した原子や分子のモデルを見直して、修正したモデルを書く。
香取市42.8% (全国49.4%)
- 理科5(1) 「信号を見てブレーキを踏む」という反応について、目(感覚器官)が受けた刺激が、どの神経を介して脳・脊髄へ至るのかを書く。
香取市49.7% (全国57.2%)

力を入れたい学習

- 「変化すること」と「原因として考えられる要因」をすべて挙げ、それらの妥当性について検討する。次に、それらの要因を「変える条件」と「変えない条件」に整理して、実験を計画する場面を設定する。
- 自然の事物・現象や日常生活で見られる化学変化を原子や分子のモデルで提示し、化学変化の前後で原子の数や種類は変化しないという知識を活用して、そのモデルについて話し合い改善する学習場面を設定する。
- 外界からの刺激が受け入れられ、感覚神経、中枢神経、運動神経を介して反応が起こることを、観察・実験や日常の経験などを通して理解する学習場面を設定する。例えば、動物が外界の刺激に適切に反応して生活している様子を観察したり、落とされたものさしをつかむなどの実験を行ったりする。